

ADOBE® FLASH® PLAYER ローカル設定マネージャー

法律上の注意

法律上の注意については、http://help.adobe.com/ja_JP/legalnotices/index.html を参照してください。

目次

ローカル設定マネージャーの使用

記憶領域	1
カメラとマイク	4
再生	5
アップデート	6
高度な設定	7

ローカル設定マネージャーの使用

記憶領域

記憶領域パネル内の設定を使用し、Web サイトが Flash Player を利用してデータをどのようにコンピューター上に保存するか（または保存するかどうか）を指定します。

このセクションの設定は、Google Chrome または Chromium ベースのブラウザ（PPAPI）には適用されません。

Chromium ベースのブラウザでの Flash Player の設定について詳しくは、<http://helpx.adobe.com/flash-player/kb/changing-flash-player-settings-chrome.html> を参照してください。

ローカル記憶領域設定

ローカル記憶領域設定では、Flash Player を使用して Web サイトがデータを保存できるかどうかを指定します。サイトは、表示履歴、プレイ中のゲーム、環境設定、またはコンピューターに関する情報をローカル記憶領域に保存できます。サイトがアクセスできるのは、以前にそのサイト自体が保存したローカル記憶領域情報だけです（他のサイトによって保存されたデータにはアクセスできません）。Flash Player を使用したコンピューターへの情報の保存は、すべてのサイトに対して許可するか、一部のサイトだけに許可するか、またはすべてのサイトに対して禁止することができます。

- このコンピューターへの情報の保存をサイトで許可

すべてのサイトに対して、このコンピューターへの情報の保存を（通知を求めずに）許可するには、このオプションを選択します。

- 新しいサイトでこのコンピューターへの情報の保存を許可する前に確認

コンピューターへの情報の保存を一部の Web サイトに許可し、さらに許可するかどうかをサイトごとに指定するには、このオプションを選択します。

- このコンピューターへの情報の保存をすべてのサイトでブロック

すべてのサイトに対してこのコンピューターへの情報の保存を禁止し、許可を求める通知も一切表示しないようにするには、このオプションを選択します。

注意：このオプションを選択すると、コンピューターに保存されている既存のローカル記憶領域もすべて削除されます。今後、サイトによる情報の保存を禁止するだけでなく、既にあるローカル記憶領域がすべて削除されることを確認するメッセージが表示されます。

サイトごとのローカル記憶領域設定

このコンピューターのローカル記憶領域を使用できるサイト、またはローカル記憶領域の使用をブロックされているサイトのリストを表示します。リスト内のサイトに対して、ローカル記憶領域の使用を許可または禁止できます。さらに、ローカル記憶領域を使用する前に必ず許可を求めるようにサイトを設定することもできます。リストからサイトを削除することもできます。サイトを削除すると、Flash Player に保存されているそのサイト用の設定とデータもすべて一緒に削除されます。

閲覧したことのないサイトに対してローカル記憶領域設定を指定するには、まずそのサイトをリストに追加してから、そのサイト用のローカル記憶領域設定を指定します。

注意：「**サイトごとのローカル記憶領域設定**」タブを使用して追加または削除した Web サイトは、設定マネージャー内の他のタブに表示されるリストに対しても追加または削除できます。例えば、Web サイトを「**サイトごとのローカル記憶領域設定**」のリストに追加し、そのサイト用のローカル記憶領域設定を指定したとします。次に、「**サイトごとのカメラとマイクの設定**」タブに移動し、前のタブで追加した Web サイトを削除すると、そのサイトとそのすべての Flash Player 設定が現在のタブからも削除されます。

すべて削除 ...

注意：このオプションを選択すると、Web サイトによってコンピューターに保存された Flash Player データをすべて削除できます。コンピューター上の閲覧履歴をすべて削除するには、使用しているブラウザの閲覧履歴をクリアします。

パネルを表示して、このコンピューターで使用しているすべてのブラウザから、Flash Player によって保存されたサイトデータを削除するように選択できます。次の操作を行うことができます。

- すべてのサイトデータおよび設定を削除

このチェックボックスを選択すると、このパネルの下部の「**データを削除**」をクリックしたときに、ローカル記憶領域、カメラ、マイク、ピアアシストネットワークの設定がすべて削除されます。

注意：このボックスを選択し、「**データを削除**」をクリックすると、すべての Web サイト用のデータが削除されます。一部のサイトのデータのみを保存し、他のサイトのデータを削除するには、「**記憶領域**」タブに戻り、「**サイトごとのローカル記憶領域設定**」をクリックして、データを削除するサイトをリストから削除します。

- すべてのオーディオとビデオのライセンスファイルを削除

このチェックボックスを選択すると、レンタルまたは購入した映画や音楽などの保護されたコンテンツのライセンスファイルがすべて削除されます。ライセンスファイルを削除するのは、例えば、コンピューターを売却または寄付する際に、保護されたコンテンツが他のユーザーによって再生されないようにする場合などです。保護されたコンテンツをもう一度再生するには、コンテンツのプロバイダーから新しいライセンスファイルを入手する必要があります。

プライベートブラウジングに関する詳細情報

プライベートブラウジングを使用すると、Web を閲覧するときにコンピューター上に履歴を一切残さないようにできます。Flash Player は Web ブラウザーと連携し、ブラウザのプライベートブラウジング設定に従って、保存されたデータを自動的にクリアします。

プライベートブラウジングとは

オンラインでの操作履歴をすばやく後戻りできるように、Web ブラウザーには、通常、閲覧したサイトの履歴が保存されています。ほかのユーザーに閲覧履歴を見られたくないときのために、多くのブラウザには「プライベートブラウジング」モードが用意されています。プライベートブラウジングモードを有効にすると、ブラウザに履歴が一切保存されなくなるので、同じコンピューターを共有しているほかのユーザーに対して自分の操作内容を隠すことができます。

プライベートブラウジングモードを使用している場合、Web ブラウザーは数種類の情報を一時的に保存します。プライベートブラウジングモードを終了すると、一時的に保存されたデータ（ブラウザ履歴内の閲覧記録、Cookie、画像ファイルのキャッシュなど）は削除されます。通常の閲覧モードでは、ブラウザをいったん終了し再起動した後も、履歴が保持されます。さらに、プライベートブラウジング中に保存されたデータは Flash Player から自動的にクリアされるため、閲覧履歴を秘密にしておくことができます。

注意：ローカル記憶領域を使用してデータを保存するように設定されている一部の Web サイトでは、プライベートブラウジングセッション中に予期しない動作が発生することがあります。

Flash Player のプライベートブラウジングをサポートするブラウザ

次に示すブラウザの最新バージョンは、Flash Player 10.1 以降とのプライベートブラウジング統合機能に対応しています。

- Google Chrome
- Mozilla Firefox
- Microsoft Internet Explorer
- Apple Safari

プライベートブラウジングのしくみ

Flash Player 10.1 より前のバージョンでは、ブラウザーがプライベートブラウジングを使用していたかどうかにかかわらず、プレーヤーの動作は同じでした。ブラウザーは、プライベートブラウジングセッション中に一時的に保存されたデータはクリアできましたが、Flash Player のローカル記憶領域に保存されているデータ（ローカル共有オブジェクト。LSO と呼ぶ）があっても認識できませんでした。Flash Player ローカル記憶領域内の情報はサイトごとに保存されているので、Web サイト間でほかの Web サイトの情報を表示することはできません。ただし、情報がサイトごとに保存されていても、以前に閲覧したサイトでローカル記憶領域を使用していた場合には、そのサイトの閲覧履歴が残ります。

Flash Player 10.1 以降では、Flash Player が能動的にブラウザーのプライベートブラウジングモードをサポートするようになりました。ローカル記憶領域のデータは、プライベートブラウジングと整合性がとれるように管理されます。プライベートブラウジングセッションが終了すると、Flash Player は自動的に該当するデータをローカル記憶領域からクリアします。

さらに、Flash Player は、通常の閲覧モード中に使用されたローカル記憶領域と、プライベートブラウジング中に使用されたローカル記憶領域を区別します。通常の閲覧モードで閲覧したときにサイトの情報をコンピューターに保存したとしても、プライベートブラウジングモード中にそれらの情報にアクセスすることはできません。例えば、通常の閲覧モード中に、Flash ベースの Web アプリケーションにパスワードを保存したとします。このパスワードは、同じサイトをプライベートブラウジングで閲覧したときには呼び出せません。

プライバシー管理に関する詳細情報

Flash Player のローカル記憶領域

Flash Player のローカル記憶領域とは、一部の Web サイトを閲覧したときにコンピューターに情報を保存するために作成されるファイルのことです。このローカル記憶領域は、ブラウザーの Cookie と同様にログインデータや閲覧したページなどの情報の保存に使用されるので、誤って「Flash Cookie」と呼ばれることもあります。多くの Web サイトはこの機能を使用して、Flash Player を介してコンテンツに入力されたフォーム情報、プレイ中のオンラインゲームやハイスコア、好みの再生音量などの設定、ビデオの前の停止位置といった情報を記憶します。ローカル記憶領域に保存した情報は、Flash Player を終了した後もコンピューター上に残りますが（ブラウザーキャッシュをクリアしても残る）、それらの情報にアクセスできるのは保存を行った Web サイトだけです。情報の保存を行った Web サイトは、次回閲覧されたときに、必要に応じてローカル記憶領域から情報を取得します。ローカル記憶領域内の情報は、Flash Player 設定マネージャーを使用してもクリアできます。ローカル記憶領域について詳しくは、<http://www.adobe.com/jp/products/flashplayer/articles/lso/> を参照してください。

潜在的なプライバシーの問題

報告によると、一部の企業がオンラインでの追跡目的で、Flash Player のローカル記憶領域を追跡用の HTTP Cookie の代わりに使用している可能性があるようです。また、企業によっては、ユーザーが Cookie を削除した場合に対応できるように、HTTP Cookie のバックアップコピーをローカル記憶領域に保存している可能性もあります（この手法は「復元」とも呼ばれます）。アドビは、ユーザーの意向に反するような形でローカル記憶領域の使用を非難する声明を公式に発表しています。しかし、オープンプラットフォーム用のツールを提供するということは、本質的に、製品が開発者やコンテンツ制作者に使用される方法を管理できないということでもあります。

選択した設定について

選択したそれぞれの設定が Flash の操作性にどのように影響するかについて詳しくは、設定マネージャーの各タブのヘルプページの説明を参照してください。次の表に示すように、これらのヘルプページにはインターネットからもアクセスできます。

ヘルプページ	URL
記憶領域	http://adobe.com/go/flash-player-settings-storage_jp
カメラとマイク	http://adobe.com/go/flash-player-settings-camera-and-mic_jp
再生	http://adobe.com/go/flash-player-settings-playback_jp
アップデート	http://adobe.com/go/flash-player-settings-updates_jp
高度な設定	http://adobe.com/go/flash-player-settings-advanced_jp

カメラとマイク

このパネルの設定は、コンピューターのカメラとマイクを使用して、Web サイトでオーディオと視覚データを録音、録画する方法を管理します。カメラとマイクの使用はプライバシーにかかわる可能性があるため、Flash Player は、Web サイトのカメラまたはマイクを有効にする前に、デフォルトで必ずアクセス許可を求めます。すべての Web サイトは、明示的にユーザーから許可されない限り、カメラおよびマイクを一切使用できません。カメラとマイクパネルの設定を使用して、このデフォルト設定を変更し、特定の Web サイトによるカメラとマイクの使用を拒否または許可するように設定できます。

このセクションの設定は、Google Chrome または Chromium ベースのブラウザ（PPAPI）には適用されません。

Chromium ベースのブラウザでの Flash Player の設定について詳しくは、<http://helpx.adobe.com/flash-player/kb/changing-flash-player-settings-chrome.html> を参照してください。

カメラとマイクの設定

このパネルを使用して、Flash Player 内のカメラとマイクの設定を指定します。

- カメラまたはマイクをサイトで使用する場合に確認（推奨）

このオプション（デフォルト）を選択すると、すべての Web サイトに対して、カメラまたはマイクを使用する際にユーザーの許可を求めることが義務付けられます。この動作は、その Web サイトを閲覧したことがあるかどうかに関係なく、すべての Web サイトに適用されます。

- カメラとマイクの使用をすべてのサイトでブロック

このオプションを選択すると、カメラとマイクの使用を試みるすべての Web サイトに対して、カメラとマイクの使用が禁止されます。また、カメラまたはマイクへのアクセスを求める確認メッセージも表示されません。この動作は、その Web サイトを閲覧したことがあるかどうかに関係なく、すべての Web サイトに適用されます。特定のサイトにカメラとマイクの使用を許可するには、「**サイトごとのカメラとマイクの設定**」をクリックし、「**追加**」ボタンを使用してそのサイトにアクセス許可を適用します。

サイトごとのカメラとマイクの設定 ...

以前に閲覧したときにコンピューターのカメラまたはマイクの使用を求めてきた Web サイトのリストが表示されます。そのリスト内のサイトに対して、カメラとマイクの使用を許可または禁止できます。また、カメラとマイクの使用許可を求めるメッセージを表示させることもできます。さらに、サイトをリストから削除するように選択することもできます。サイトを削除すると、Flash Player に保存されているそのサイト用の設定とデータもすべて一緒に削除されます。

当初のリストには、閲覧したことのあるサイトのみが含まれています。閲覧したことのないサイトに対してカメラとマイクの設定を指定するには、このリストにサイトを追加するように選択します。リストにサイトを追加した後は、そのサイトでのカメラとマイクの使用を常に許可するか、使用時にアクセス許可を求めるように義務付けるか、カメラとマイクの使用を一切禁止するかを指定できます。

注意：サイトごとのカメラとマイクの設定パネルを使用して追加または削除した Web サイトは、設定マネージャー内の他のパネルに表示されるリストに対しても追加または削除されます。例えば、「**サイトごとのカメラとマイクの設定**」のリストに Web サイトを追加し、そのサイト用のローカル記憶領域を指定したとします。次に、**サイトごとのピアアシストネットワーク設定**パネルに移動し、そこでそのサイトを削除すると、サイト自体とその Flash Player 設定、ローカル記憶領域のすべてが、サイトごとのピアアシストネットワーク設定パネルからも削除されます。

再生

再生パネルの設定を使用して、Web サイトのコンテンツの再生に利用できる各種オプションを Flash Player で使用方法を管理できます。

このセクションの設定は、Google Chrome または Chromium ベースのブラウザ（PPAPI）には適用されません。

Chromium ベースのブラウザでの Flash Player の設定について詳しくは、<http://helpx.adobe.com/flash-player/kb/changing-flash-player-settings-chrome.html> を参照してください。

ピアアシストネットワークとは

オーディオやビデオを提供する Web サイトでは、同じコンテンツを再生しているユーザーどうしが帯域幅を共有することにより、より高いパフォーマンスでコンテンツを送信できるようになります。帯域幅を共有することで、バッファリングによるスキップや一時停止が発生することなく、オーディオやビデオをよりスムーズに再生できます。この仕組みは、ユーザーエクスペリエンスの向上のためにネットワーク上のピアが互いに支援し合うことから、「ピアアシストネットワーク」と呼ばれます。

パフォーマンスが改善する帯域幅の共有のほかにも、ピアアシストネットワークでは、ネットワークや Web サイトのユーザー間の通信を必要とするチャットなどの機能を有効にすることができます。

ピアアシストネットワーク設定

このパネルを使用して、以前に閲覧したときにピアアシストネットワークの使用を求めてきた Web サイト用にピアアシストネットワーク設定を指定します。

- ピアアシストネットワークをサイトで使用する場合に確認

このオプションを選択すると、ピアアシストネットワークを初めて使用するすべてのサイトが、アクセス許可を求めるように義務付けられます。アクセス許可を求められたら、そのサイトによるピアアシストネットワークの使用を許可または拒否します。この動作は、閲覧したことのないサイトにも、閲覧したことはあるがピアアシストネットワーク設定を指定していないサイトにも、同じように適用されます。

- ピアアシストネットワークの使用をすべてのサイトでブロック

このオプションを選択すると、すべての Web サイトでピアアシストネットワークを使用できなくなり、帯域幅を共有するかどうかの確認メッセージも表示されなくなります。

このオプションを有効にしても、アプリケーションからの要求時に自動的に帯域幅が共有されるようになるわけではありません。有効にした場合、帯域幅を共有するかどうかアプリケーションから確認を求められるようになります。通常は、高速接続を使用している場合のみ、帯域幅の共有を許可します。

サイトごとのピアアシストネットワーク設定 ...

このパネルを使用して、以前に閲覧したときにピアアシストネットワークの使用を求めてきた Web サイト用にピアアシストネットワーク設定を指定します。

閲覧した Web サイトごとに、リストには次の内容が表示されます。

- 閲覧したことのある Web サイトの名前
- その Web サイト用のピアアシストネットワーク設定

ネットワーク設定の変更

特定の Web サイト用の設定を指定するには、その Web サイトをリストから選択し、目的に応じて次のように設定を変更します。

- Web サイトと帯域幅を共有せず、今後確認メッセージを表示しない場合は、「**ブロック**」を選択します。
- Web サイトと帯域幅を共有し、今後確認メッセージを表示しない場合は、「**許可**」を選択します。
- 帯域幅を共有する前に Flash Player から常に確認を求められるようにするには、「**権限を確認**」を選択します。

Web サイトの追加

Web サイトをリストに追加するには「**追加**」をクリックし、その Web サイトのドメインを指定します。次に、追加したサイトに必要な設定を選択します。

Web サイトの削除

Web サイトをリストから削除するには、そのサイトを選択し、**Delete** キー (Windows) または - (マイナス記号) キー (Mac OS) をクリックします。

注意: サイトごとのピアアシストネットワーク設定パネルを使用して追加または削除した Web サイトは、設定マネージャー内の他のパネルに表示されるリストに対しても追加または削除されます。例えば、Web サイトを「**サイトごとのピアアシストネットワーク設定**」のリストに追加し、そのサイト用のローカル記憶領域を指定したとします。次に、**サイトごとのローカル記憶領域設定**パネルに移動し、前のパネルで追加した Web サイトを削除すると、そのサイトとそのすべての Flash Player 設定が現在のパネルからも削除されます。

アップデート

アドビは、新しいバージョンの Flash Player を定期的にリリースしています。アップデートを行うことにより、Flash Player が適切に動作すること、Flash Player にセキュリティの変更や新しい製品機能が組み込まれることが保証されます。アドビでは、Flash Player の新しいバージョンがリリースされ次第、新しいバージョンに移行することをお勧めしています (特にセキュリティに対するアップデートが含まれている場合)。

高度な設定タブの「アップデート」セクションを使用して、Flash Player の新しいバージョンのリリースを自動的にチェックするか、またはインストールされているバージョンが現在の最新リリースかどうかをチェックするかを指定できます。

今すぐチェック

「今すぐチェック」をクリックすると、アドビ Web サイトの <http://www.adobe.com/jp/software/flash/about> ページに移動し、コンピューターにインストールされている Flash Player のバージョンが表示されます。また、このページには、オペレーティングシステムとブラウザの組み合わせごとの最新の Flash Player のバージョンも表示されます。さらに、[Flash Player ダウンロードセンター](#)へのリンクもあり、このリンクから最新バージョンの Flash Player をインストールできます。

高度な設定

高度な設定パネルの設定を使用して、参照データ、アップデート、信頼されている場所、保護されたコンテンツなどを Flash Player で処理する方法を管理できます。

このセクションの設定は、Google Chrome または Chromium ベースのブラウザ（PPAPI）には適用されません。

Chromium ベースのブラウザでの Flash Player の設定について詳しくは、<http://helpx.adobe.com/flash-player/kb/changing-flash-player-settings-chrome.html> を参照してください。

データの参照と設定

高度な設定パネルの「データと設定の参照」セクションを使用して、コンピューター上で使用しているすべてのブラウザ内の Flash Player 設定およびローカル記憶領域をすべて削除します。

注意：「すべて削除」は、そのブラウザによって保存された Flash Player データのみを削除します。コンピューターの閲覧セッションに関するすべての情報を完全に削除するには、各種ブラウザを個別に開いて履歴をクリアする必要があります。詳しくは、各種ブラウザのマニュアルを参照してください。

すべて削除 ...

このコンピューターで使用しているすべてのブラウザから、特定の種類の Flash Player サイトデータを削除するように選択できるパネルが表示されます。次の操作を行うことができます。

- すべてのサイトデータおよび設定を削除

このチェックボックスを選択すると、このパネルの下部の「データを削除」をクリックしたときに、ローカル記憶領域、カメラ、マイク、ピアアシストネットワークの設定がすべて削除されます。

注意：このボックスを選択し、「データを削除」をクリックすると、すべての Web サイト用のデータが削除されます。一部のサイトのデータのみを保存し、他のサイトのデータを削除するには、**記憶領域**、**カメラとマイク**、または**再生**パネルに戻り、「**記憶領域**」、「**カメラとマイク**」、または「**サイトごとのピアアシストネットワーク設定**」をクリックして、削除したいデータを含んでいるサイトのみを削除します。

- すべてのオーディオとビデオのライセンスファイルを削除

このチェックボックスを選択すると、レンタルまたは購入した映画や音楽などのコンテンツから、ライセンスファイルがすべて削除されます。ライセンスファイルを削除すると、Flash Player はこれらの保護されたオーディオやビデオコンテンツを再生できなくなります。コンテンツ自体がコンピューター上に残っていたとしても再生できません。

開発ツール

開発者の方へ：多くの Flash 開発者の方は、最終的にインターネットにデプロイされる SWF や FLV のコンテンツを開発しています。このようなアプリケーションの開発時には、SWF または FLV コンテンツのテストを、Web サーバーにデプロイしてからではなく、ローカルに保存している間に行う必要があります。セキュリティ上の理由で、Flash Player は、ローカルに保存されている SWF または FLV コンテンツからのインターネットへのアクセスをブロックします。また、インターネット上の SWF または FLV コンテンツがコンピューターにアクセスできないように防壁しています。

結果的に、ローカルでのテスト中に Flash Player からセキュリティ上の警告が表示され、意図したとおりにアプリケーションが機能することを妨げられることがあります。この問題は、**信頼されている場所設定**パネルで、自分の SWF または FLV コンテンツを「信頼されている」と指定することで解決できます。信頼されていると指定された特定のファイル、または信頼されていると指定された特定のフォルダーへのパスを指定できます。信頼されているフォルダー内のファイルだけでなく、そのサブフォルダー内のすべてのファイルも信頼されます。

信頼されている場所設定

このタブを使用して、コンピューター内の、信頼している SWF または FLV コンテンツの保存場所を指定します。信頼されているコンテンツには、インターネットおよびローカルコンピューターのファイルシステムからのアクセスを遮断するセキュリティールールは適用されません。

開発者によるテスト用に、信頼されている場所を指定するには

- 1 開発者向けツールの下の**高度な設定**パネルで、「**信頼されている場所設定**」をクリックし、「**追加**」をクリックします。
- 2 信頼されているコンテンツが含まれているコンピューター上の場所を入力するか、「**ファイルを参照**」または「**フォルダーを参照**」をクリックして、信頼するファイルまたはフォルダーを指定します。ファイルではなくフォルダーを指定する場合、サブフォルダーなど、フォルダーに含まれる内容も同じように信頼されます。
- 3 「**確認**」をクリックし、ドメイン、ファイル、またはフォルダーを、信頼されている場所のリストに追加します。

保護されたコンテンツ

インターネット上の一部のコンテンツ（映画や音楽など）は、再生する前にコンテンツプロバイダーからコンテンツのライセンスを取得する必要があります。これらのコンテンツライセンスは、例えば、保護されたコンテンツをレンタルまたは購入した場合には、自動的にコンピューターにダウンロードされます。Flash Player はこれらのライセンスをコンピューターに保存します。ライセンスファイルを削除すると、Flash Player はこれらの保護されたオーディオやビデオコンテンツを再生できなくなります。コンテンツ自体がコンピューター上に残っていたとしても再生できません。この操作を、コンピューターの認証解除と呼びます。コンピューターを売却、寄付、廃棄する場合には、今後、保護されたコンテンツを権限のないユーザーが再生することのないように、コンピューターの認証を解除します。

ライセンスファイルをリセットする場合には、注意が必要です。ライセンスファイルをリセットすると、そのコンピューター上で Flash Player によって再生される保護されたコンテンツの既存のライセンスファイルすべてがリセットされます。コンテンツプロバイダーから新しいライセンスをダウンロードするまでは、保護されたコンテンツをそのコンピューターで再生することはできなくなります。

このコンピューターの認証を解除 ...

このボタンをクリックすると、レンタルまたは購入した映画や音楽などのコンテンツのライセンスファイルがすべて削除されます。コンピューターの認証を解除すると、Flash Player はこれらの保護されたオーディオやビデオコンテンツを再生できなくなります。コンテンツ自体がコンピューター上に残っていたとしても、再生できません。